

再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課
担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	一般国道196号 <small>いまぼり</small> 今治道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：愛媛県 <small>いまぼりしやた</small> 今治市矢田 至：愛媛県 <small>いまぼりしながさわ</small> 今治市長沢			延長	10.3km
事業概要					
<p>一般国道196号は、松山市を起点とし、今治市を経て、西条市小松町に至る全長約66kmの幹線道路であるとともに、通勤等日常生活を支える生活道路としての役割をもつ重要な路線である。</p> <p>今治道路（今治IC～今治湯ノ浦IC：延長10.3km）は、高規格幹線道路網を構成する一般国道の自動車専用道路である「今治小松自動車道」の一部であり、西瀬戸自動車道（瀬戸内しまなみ海道）及び四国縦貫自動車道（松山自動車道等）と一体となり、産業・文化などの分野における地域間の交流を促し、地域の活性化を図ることを目的として計画された高規格幹線道路である。</p>					
H13年度事業化		H3年度都市計画決定 (R1年度変更)		H15年度用地着手	
				H24年度工事着手	
全体事業費	約780億円	事業進捗率 (令和4年3月末時点)	約67%	供用済延長	0.0km
計画交通量	17,100～19,700台/日				
費用便益 分析結果	B/C (事業全体)	1.1	総費用 (事業費) / (事業全体) 251/919億円	総便益 (残事業) / (事業全体) 1,050/1,050億円	基準年 令和4年
	(残事業)	4.2	事業費：209/878億円 維持管理費：41/41億円	走行時間短縮便益：925/925億円 走行経費減少便益：97/97億円 交通事故減少便益：28/28億円	
感度分析の結果					
<p>(事業全体) 交通量：B/C=1.01～1.3（交通量±10%）（残事業）B/C=3.7～4.7（交通量±10%） 事業費：B/C=1.1～1.2（事業費±10%） B/C=3.9～4.6（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.1～1.2（事業期間±20%） B/C=4.0～4.4（事業期間±20%）</p>					
事業の効果等					
<p>流通の利便性の向上による産業の振興や、走行性の高い高速道路を利用することで緊急施設へのアクセス性が向上するなど、多様な整備効果が期待できる。</p> <p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・現道等の混雑時旅行速度の改善が期待される。 ・並行する現道を運行している高速バスの所要時間が短縮し、定時性の向上が見込まれる。 ・松山空港（第二種空港）へのアクセス向上が見込まれる。 <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今治港（重要港湾）へのアクセス向上が見込まれる。 ・愛媛県の農水産品の大都市への流通の利便性向上が見込まれる。 <p>③都市の再生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今治新都市開発整備事業との連携が見込まれる。 <p>④国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本州と四国を連絡する高規格幹線道路の一部を構成し、高速道路のミッシングリンクの解消が見込まれる。 ・隣接した日常生活圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する。 <p>【今治地方都市圏～新居浜西条地方都市圏】</p> <p>⑤個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今治ICに隣接する今治新都市開発事業に進出した企業が四国内外の出荷に活用できるなど地域開発への支援が見込まれる。 ・主要観光地へのアクセス向上が見込まれる。 <p>⑥安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三次医療施設（愛媛大学医学部附属病院）へのアクセス向上が見込まれる。 <p>⑦災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県地域防災計画において第一次緊急輸送道路に位置づけられている。 ・緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線が形成される。 <p>⑧地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減が見込まれる。 <p>⑨生活環境の改善・保全</p>					

- ・NOx排出量の削減が見込まれる。
- ・SPM排出量の削減が見込まれる。
- ・環境や景観上の効果が期待される。

⑩他のプロジェクトとの関係

- ・三次医療施設へのアクセス性向上により60分圏域人口の拡大が見込まれる。

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等

- ・今治小松自動車道建設促進期成同盟会、四国連合協議会、道路整備促進既成同盟会愛媛地方協議会等より、本事業の整備促進について、積極的な要望活動が続けられている。

愛媛県知事の意見

- ・今治道路は、中国地方から瀬戸内しまなみ海道を經由し、四国8の字ネットワークまでを繋ぐルートのうち、唯一のミッシングリンクとなっており、中四国の更なる広域交流や産業・観光振興等を図るうえで欠かすことのできない重要な道路であることから、一日も早い開通に向けて整備推進をお願いします。なお、整備にあたっては、徹底した工程管理や、一層のコスト縮減をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等

- ・平成13年7月 今治小松自動車道（今治湯ノ浦IC～東予丹原IC）延長9.0km 開通
- ・平成18年4月 西瀬戸自動車道（瀬戸内しまなみ海道）大島道路（大島北IC～大島南IC 延長6.3km）及び生口島道路（生口島北IC～生口島南IC 延長6.5km） 暫定2車線開通により瀬戸内しまなみ街道全線開通
- ・平成21年3月 県道今治丹原線 開通
- ・平成26年3月 （都）喜田村新谷線 開通
- （その他）
- ・平成18年9月 今治新都市第1地区分譲受付開始
- ・平成18年10月 今治新都市第2地区分譲受付開始
- ・平成25年10月 大型商業施設開店
- ・平成28年4月 大型商業施設開店

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・平成13年度に事業化、用地進捗率約99%、事業進捗率約67%（令和4年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・今治朝倉IC（仮称）～今治湯ノ浦IC区間は、平成24年度より工事着手し全面展開中。今治IC～今治朝倉IC（仮称）区間は、平成25年度より用地買収に着手し、平成28年度より全区間において用地買収を実施中。

施設の構造や工法の変更等

- ・床版形式をRC床版から合成床版へ変更し少数主桁を適用することによりコスト縮減を図るとともに、今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理費を考慮した構造等の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

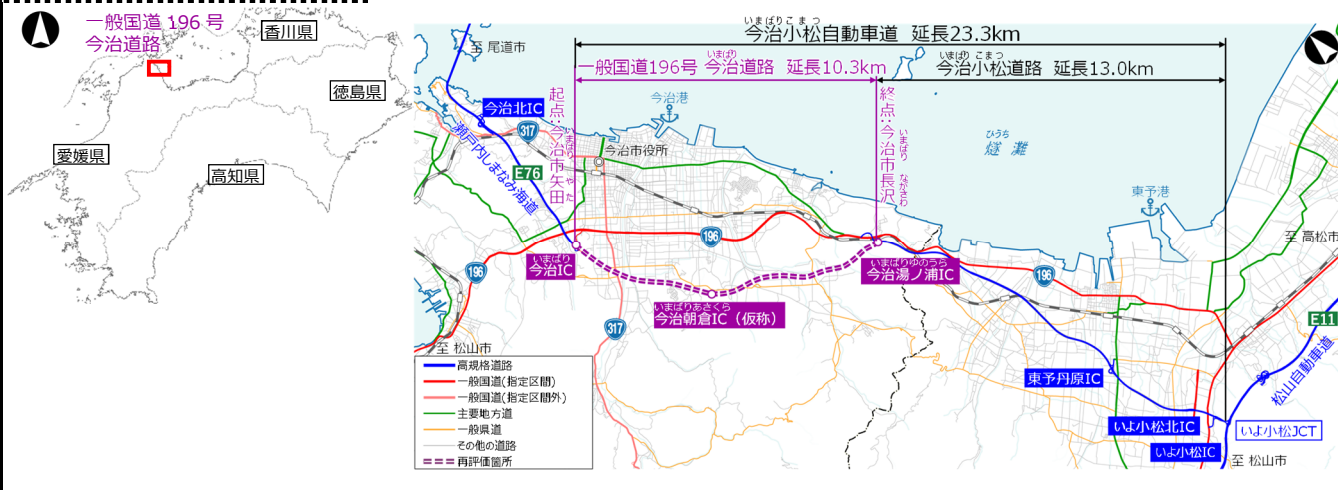
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。